

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



こども感染症情報

17.7.6
週報第 646号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第26週 (6/26~7/2) (25週)	
	発生数 (人)	前週との比較
百日咳	1 (0)	→
ヘルパンギーナ	3 (6)	↘
感染性胃腸炎	32 (39)	↘
溶連菌咽頭炎	6 (3)	↗
RSウイルス	0 (0)	→
水痘	7 (1)	↗
咽頭結膜熱	2 (2)	→
手足口病	22 (13)	↗
突発性発疹	4 (2)	↗

(参考) 秋田県の状況 第25週 (6/19~6/25)
<全県の発生状況>
1位：感染性胃腸炎 (全県で前週より17%減少)
2位：手足口病 (全県で前週より2%増加)
3位：溶連菌咽頭炎 (県全体で全週より19%増加)
4位：咽頭結膜熱
5位：水痘
県内 警報・注意報
警報：手足口病 (大館)
：急性出血性結膜炎 (横手)

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報 (7/4)

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	手足口病	水痘	溶連菌咽頭炎	咽頭結膜熱	その他
施設 (数)								
保育所・園 (35)	1	1		19		4	1	8
小学校 (22)			2					
中学校 (8)			1			1		
高校 (7)								
特別支援学校								

腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう

第25週までに秋田県では5件が報告されています。気温の上昇とともに報告数は増加する傾向にあり、これからの時期は特に注意が必要です。

腸管出血性大腸菌とは？

ペロ毒素を産生する大腸菌。腹痛、血便、下痢、発熱等を伴い、抵抗力が弱い人には出血性尿毒症を引き起こします。



感染経路は？

菌は牛や羊等の動物の腸管に生息し、動物の糞便で汚染された食物を摂取したり、感染した患者の糞便から感染します。

予防は？

- 調理前やオムツ交換、動物を触った時は手を洗う
- 菌は火に弱い！よく加熱する
- 調理器具は熱湯や漂白剤で消毒する
- 汚染された井戸水も感染源になるので消毒していない生水は飲まない
- フールの衛生管理に気をつける

